

朝日自然塾1

新緑の白布平ブナ林で森と遊ぼう！

朝日自然塾第1回プログラム「新緑の白布平ブナ林で森と遊ぼう！」は、5月21日、小雨で霞み、幻想的な雰囲気も感じられる森林の中を、長井市内の小学生親子10名が参加して開催されました。



吊り橋でドキドキ

今回のプログラムは、①吊り橋体験、②動物たちの目覚め（足跡、糞で動物を見分ける）、③森の不思議発見（春の花等）、ムササビの家（巣穴）訪問、⑥山のルールとマナーなど盛りだくさんで、吊り橋体験が初体験の方は、融雪の早い流れに、ようやく渡りきることができました。また、しばらく歩くと、歩道でたくさんのカモシカ糞を発見しました。カモシカには会えませんでしたでしたが、豊かな自然を身近に感じていただきました。



カモシカの糞を発見



講師の先生からは、ブナ林にある数多くの樹木や残雪に咲く美しい花、「ブナ原生林と雨」などの話を聞きながら散策しました。途中、地元五味沢のマタギが狩りに使う山小屋での暮らし方など、貴重な話に耳を傾けていました。

更に、参加者が発見した、イモリなど雨の森で活動する生き物たちとの出会いがあり、「初めて赤いおなかを見ました。」と驚きの声も聞かれました。

お昼は、スタッフが用意した岩魚の塩焼きいただき、美味しい笑顔で包まれた時間となりました。



初めてのイモリ体験

ブナ倒木から新たな食物連鎖

「新緑の白布平ブナ林で森と遊ぼう！」は、「小国の自然を守る会」や「山形県猟友会小国支部」の皆さんから講師やスタッフとしてご協力いただき、豊かな水を育むブナの森での貴重な体験をすることができました。ありがとうございました。



大きな洞のあるブナの前で



イワナ焼き体験